

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

復興元年



派遣された職員に感謝の意を伝える戸田市長

11月9日、岩手県大船渡市の戸田^{とだ きみあき}公明市長が東日本大震災復興支援へのお礼を伝えるため、市役所を訪問されました。

曾於市では震災直後から約半年間、大隅半島4市5町復興支援チームとして27名の職員を派遣しました。

戸田市長は、派遣された職員を前に「本当に遠いところから来ていただいた。皆さんの支援に感謝します」と述べられ、「大船渡市は、ようやく復興への扉が開いたところです。今年を『復興元年』として復興計画を進めたい」と力強く話されました。

半世紀の絆を振り返り

11月6日、曾於市末吉総合センターで「合同金婚式並びにひとり金婚者の集い」が開催され、結婚50年を迎えられた104組の金婚者と18名のひとり金婚者の方々が出席されました。

池田市長は「地域の発展のために共にがんばってこられたご夫婦のご苦労やご貢献に敬意を表し、今後ますますのご健康と長寿をお祈りします」と述べました。

また、出席者を代表して、松木^{まつき けんたろう}忠夫さんが、「光陰矢のごとと申しますが、長いようで短い50年。山あり谷あり苦楽をともにしながら夫婦の絆を深めてきました。今後も夫婦という名の大輪の花を咲かせながら、円満な家庭を築いていきたいと思っております」と謝辞を述べられました。



代表謝辞を述べる松木さん

市民の健康増進のために

「交通事故対策事業に係る支援金」贈呈



贈呈式に出席された山野徹代表理事組合長

全国共済農業協同組合連合会より「交通事故対策事業に係る支援金」として600万円の寄附があり、11月26日に市役所で贈呈式がありました。

曾於市では、4月にオープンする「そお生きいき健康センター」の運動機器整備に活用します。

安全運転をするには、まずは健康な体が必要です。市民の皆さんには、交通事故を未然に防ぐために、最新のトレーニング機器を使用して健康増進を図って欲しいものです。

航空自衛隊 西部航空音楽隊演奏会

11月20日、大隅文化会館で「航空自衛隊 西部航空音楽隊演奏会」が開催されました。

ロビーでのミニコンサートの後に開演、1部は「ブラス・アラカルト」と題して、「オペラ座の怪人」や「くるみ割り人形」が披露され、その素晴らしい演奏に会場はうっとりとした空気に包まれました。

2部では「サンタが町にやってくる」などのクリスマスソングが次々と披露され、アンコールで「Holy night!」を合唱する頃には、ひと足早くクリスマスが訪れたようで、みんなが笑顔になっていました。



音楽隊の素晴らしい演奏に感動

故郷で迎える古希同窓会



旧交を温める皆さん

11月22日、昭和31年に末吉小学校を、昭和34年に末吉中学校を卒業された方々が、古希同窓会を開催しました。北海道をはじめ全国各地から65名が集まり、旧交を温め喜び合いました。

「古希は70代の出発。健康管理と喜びを重ね共に輝こう!」をテーマに掲げ、お互いのこれからの健康と長生きを誓い合っていました。

23日には、地元同窓生によるおにぎりとガネの振る舞いもあり、昔から変わらぬ故郷の味に感激していました。その後は流鏝馬も見学し、懐かしいホゼの雰囲気を楽しんでいました。

第44回日展 特選授賞



「明日へ」



野添浩一さん

第44回日展で、大隅北小学校教頭の野添浩一さん（大隅町立馬）の作品「明日へ」が特選を授賞しました。

作品は、東日本大震災からの完全復興など明日に向かう希望を二人の女性が寄り添う姿で表現したものです。

野添さんは、西之表市に赴任していた2年前にも特選を授賞しています。

今回の授賞について、「曾於市の『夢実現』という言葉が制作の背中を押してくれた。多くの方々のご理解・ご協力によって、授賞できたものです」と周囲の人への感謝を繰り返していました。

おおきくな〜れ！

11月13日、末吉総合体育館で子育て支援センター主催のミニミニ運動会が開催されました。

この運動会は、乳幼児を持つ子育て中の方々を対象としたもので、今年で6回目を迎えました。かけっこやハイハイ競争、玉入れなど楽しいプログラムにハラハラ、ドキドキしながら親子そろって楽しいひとときを過ごしました。

カメラを片手にわが子を見つめるお母さん方の姿に親子のぬくもりを感じました。子どもたちは、ごほうびのキャラクター風船やペンダントに大喜びでした。

かわいい子どもたちが、これからも元気ですくすくと成長してくれることを願っています。



ゴールを目指す子どもたち

木場克己さんスポーツ講演会



トレーニングを教える木場さん

11月9日、末吉総合センターで、曾於市出身でプロスポーツ選手のトレーナーを務める木場克己さんの講演会が開催されました。この講演会は、木場さんの母校である末吉小・末吉中のPTAが主催したものです。

木場さんはサッカー日本代表の長友佑都選手の専属トレーナーを務めており、そのトレーニング方式はスポーツ界で広く知られています。

講演は、生徒たちを壇上に上げ、トレーニングの実践を交えながら行われました。集まった生徒や部活動の指導者たちは、メモを取りながら、真剣に話を聞いていました。

神話の郷ツアー



天の岩戸神社に大感動

曾於市観光特産開発センターは、今年は古事記が編纂されてから1300年目に当たること、曾於市には古事記の舞台が多数あることから、12月8日に「曾於市の魅力発見ツアー《神話の郷》」を行いました。

最初に古事記及び末吉の神話の舞台について事前学習を行った後、古代衣装を着た観光ガイドの案内で「柄基（天の浮橋の橋柱があった所）・櫛神社・中津瀬・黄泉平坂・天の岩戸神社」等を見学しました。

参加者は、曾於市にも神話にちなんだ場所があることに驚き、その新たな魅力に感心されていました。

健康長寿者でありたい

鹿児島県国民健康保険団体連合会主催の第26回「健康増進月間」作文の部で、白鳥明信さん（末吉町法楽寺）の「健康長寿者でありたい」が理事長賞を受賞されました。その表彰式が、10月15日に開催された「第15回健康づくり推進員大会」の中で行われました。

白鳥さんは、過去の反省から、薬に頼らず自然治癒力を高めようと、普段から運動や自家製野菜中心の食生活を心がけています。その他にも、生涯学習講座を活用し、脳の活性化を図っているそうです。

「健康長寿」は誰しもの願いです。毎日の積み重ねを大切にしたいものです。



表彰式での白鳥さん

第2回 G1 グランプリ環霧島決勝大会



がねを一所懸命に揚げている出場チーム

12月2日、曾於市観光特産開発センター主催のがねコンテストの「第2回 G1 グランプリ環霧島決勝大会」が「きらら館」で開催されました。

曾於市をはじめ5つの市から代表9チームが出場しました。雨天にも関わらず集まった多くのお客さんは、それぞれに工夫を凝らした「がね」の味を楽しみながらも投票に頭を悩ませているようでした。

投票の結果、優勝「あさがおチーム」、準優勝「パープル乙女チーム」と、昨年に続き曾於市が上位を独占し、「がねの里 曾於市」を強く印象付けました。